

## 医療連携推進方針

### 1. 医療連携推進区域

茨城県古河市・坂東市・猿島郡五霞町・猿島郡境町

### 2. 参加法人

医療法人啓山会 山中医院

医療法人つるみ脳外科 鶴見脳神経外科

### 3. 理念・運営方針

#### (理念)

人口減少や少子高齢化が急速に進む中、住み慣れた地域で誰もが安心して末永く暮らすことのできるよう、地域の医療機関が相互に連携し、持続可能で安定的な医療サービスの提供を目指します。

#### (運営方針)

- ・ 地域のニーズに即した医療機能の分担により、質の高い、充実した医療サービスを提供します。
- ・ 参加法人間の業務連携により効率的で持続可能な経営環境を実現します。
- ・ 参加法人の専門性や特色を活かし、職員相互の情報共有及び技術研鑽を行い、地域の医療水準の向上に寄与します。
- ・ 参加医療機関相互間の機能の分担・連携を推進し、質の高い医療を効率的に提供することによって、地域医療構想の達成に貢献します。
- ・ 医療機関をはじめとして、介護、介護予防、住まいや生活支援等のサービスを包括的に提供する事業者等にかかれた組織とし、地域の実情にあった機能分化及び医療資源の集約化を行うことで、地域包括ケアを推進します。

### 4. 病院等相互間の機能の分担及び業務の連携に関する事項及びその目標

#### ① 医療機器の共同利用

血管撮影装置、MRI、CT、超音波機器など高額医療機器の重複投資を抑制し、参加法人間で共同利用・適正配置することにより重複検査も避けることができる体制を構築します。

#### ② 医療材料・医薬品の共同購入

利用頻度の低い輸血回路、小児用挿管チューブ、心肺蘇生薬、抗不整脈薬などの医療材料・医薬品を共同購入することにより廃棄率を低減し、経営の効率化を図ります。共同で購入することによって相互の患者は一貫性のある継続した材料・薬品を利用することができます。

③ 医療従事者の資質向上に関する共同研修

院内感染対策講習会、院内医療安全講習会、院内褥瘡対策講習会を共同で行うなど、研修会や勉強会を共催します。共通の認識を持ち、良好なネットワークを構築することにより、連携を強化します。また、教育体制を充実させることにより、地域住民に対して提供するサービスの質向上と均一化を図ります。

④ 病床過剰地域における病床融通による、病床機能・配置の適正化

鶴見脳神経外科に病床を統合することにより、29床の病院として病床を集約化、集中治療室を設置し、高額検査治療機器を集約化し、日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医かつ日本脳神経血管内治療学会認定脳血管内治療専門医が24時間365日常駐する医療機関として、高度急性期脳卒中の救急医療を提供します。

一方、無床診療所化する山中医院は、家庭医、かかりつけ医として外来診療機能に特化します。住民が引き続き身近な地域で日常的な医療を受けたり、あるいは健康の相談等ができる医療機関として、1次医療を専門に担います。ICTを活用した、外来在宅診療医療機関と高度急性期入院医療機関の医療連携体制を明示し、患者は安心して、かかりつけ医である外来在宅専門医療機関を利用できるようになります。

これによって、脳血管疾患に対する高度急性期入院医療機関と、外来在宅医療機関に、機能分化、機能分担を行い、質の高い医療を効率的に提供し、地域医療構想に沿った病床機能・配置の適正化に貢献します。

⑤ 患者の相互診療体制の構築

ICTを活用して、電子カルテや遠隔画像診断、内線電話・電子メールシステムの相互利用体制を構築します。ICTを活用した情報共有を行うことによって、参加医療機関各々の患者は入院、外来を問わず、迅速に障壁なく専門的かつ高度な脳神経診療、循環器診療を利用可能となります（外来診療における業務の連携）。それによって時間的制約からtPAや経皮的脳血栓回収術等を受けられない患者数を減少させます。また上記ICTの利用によって山中医院は外来在宅診療医療機関に機能分化しつつも、集約化された病床で引き続き主治医として継続した診療を提供します（開放型病床の設置による業務の連携）。かかりつけ患者は住み慣れた地域から離れることなくかかりつけ主治医のもとで、外来・入院・在宅医療を受けることができるようになり、切れ目のない医療提供体制づくりに貢献します。

5. 介護事業その他地域包括ケアの推進に資する事業に関する事項

なし。